

# Emergency Watch



## 神戸こども初期急病センター



2013年4月受診者数：2277人

### 訴え

- 1. 発熱 : 1325人 (1020人)
- 2. 咳 : 909人 (191人)
- 3. 鼻汁 : 792人 (20人)
- 4. 嘔吐 : 592人 (304人)
- 5. 下痢 : 436人 (70人)

(カッコ内は、その症状を主な訴えとして来院した患者数)

### 疾患頻度

- 1. 急性上気道炎・咽頭炎 : 725人
- 2. 感染性胃腸炎 : 558人
- 3. 気管支喘息・喘息性気管支炎 : 163人
- 4. 気管支炎・肺炎 : 129人
- 5. インフルエンザ : 103人

## 今月のワンポイント！

ゴールデンウィークも終わり、季節は徐々に夏へむかっていますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。中国で発生した鳥インフルエンザ A(H7N9)は、今のところ日本国内での発生は報告されていませんが、依然として拡大の方向に向かっています。空港でのサーモグラフィーによるチェックなどの水際対策が行われていますが、中国への渡航歴がある場合、原因不明の発熱には気を付けて下さい。

毎年冬に流行する季節性インフルエンザは、2月をピークに減少していますが、ゴールデンウィーク中もインフルエンザ B 型の患者さんが日に数人受診されています。神戸こども初期急病センターにおいて、4月にインフルエンザ検査を施行した患者さんは264人で、その中でA (+)は3人。B (+)は62人でした。高熱の場合は、もうしばらくインフルエンザも気にしておかなくてはなりません。感染性胃腸炎は、大流行というわけではありませんが、依然として多くの患者さんが受診されています。この時期は、ロタウイルスによる腸炎が多く見られます。こまめな手洗いを心がけて下さい。

ところで、皆様もご存じのことと思いますが、本年4月から、Hib (インフルエンザ菌 B)、肺炎球菌、ヒトポピローマウイルス (子宮頸がんワクチン) に対するワクチンが定期接種化されました。定期予防接種は予防接種法に基づいて市町村が実施するもので、公費負担となります。もっとも、神戸市では、これらのワクチンについて1年前から全額公費負担という形で対応していましたので、経費面では大きな変わりはありませんが、これらのワクチンを定期接種の対象に追加し、接種への公費助成を恒久化することの意義は大きいものです。予防接種が増えてきており、0歳のお子さんの子育て中のお母さんは、予定を考えるだけでも大変だと思いますが、これらの感染症の予防は大切です。かかりつけの小児科医とよく相談して、きっちりと予防接種を受けることができるように心がけて下さい。

